

議 事 要 旨

区 分	摘 要
日 時	令和3年1月20日（水） 17：30 ～ 18：00
会 議 名	第5回手術部連絡協議会
場 所	日亜ホール White(大)
出 席 者	高木部長、富山副部長、賀川委員(代：藤井)、北市委員、吉田卓委員(代：河北)、吉田光委員(代：河北)、高橋正委員(代：山口)、森根委員、四宮委員(代：藤原亜)、松浦委員(代：殿谷)、安倍委員(代：水口)、兼松委員(代：島田)、沼田委員(代：富岡)、加藤委員(代：祖川)、桃田委員、栗尾委員、高橋真委員、篠原委員、横田委員、秋山委員、津川委員
欠 席 者	若槻委員、森委員、北村委員、村尾委員、角田委員、漆原委員、藤原茂委員、音見委員、菅田委員、板垣委員、三木委員、原田委員、佐藤委員、藤井委員
陪 席	林経営企画係員、藤原医療支援係長、大西医療支援係員
議 事 議題・報告 (1) 安全対策 1) 感染対策関連 ①新型コロナウイルス感染性関連 富山副部長から、非常事態宣言が出されたところであるが、本院ではまだコロナウィルス陽性患者の手術例はない旨報告があった。また、SCU入室患者を想定したシミュレーションを実施予定である旨報告された。 高木部長から、患者の術後管理について説明があった。HCUに1症例でもコロナウィルス陽性者が入室した場合HCUが閉鎖となり、その間ICUで術後管理を行う運用となっているが、ICUが6床運用となった際には、ICUで術後管理を受けることが難しくなると考えられる旨、集中治療部から伝えられている。HCU、ICUで術後管理を受けられない可能性を念頭に置き、HCU、ICUの稼働状況等も確認いただきたい旨説明があり、了承された。 2) 災害対策 ①災害対策訓練について 富山副部長から、令和2年12月25日に呼吸器外科ご協力のもと、災害対策訓練を行った旨報告があった。訓練の際に、現在まで新外来棟手術室非常ドアを開けて避難訓練を行ったことが無いため、一度その訓練が必要では無いかと意見があった。中央診療棟は免震構造、新外来棟は耐震構造であるため、大地震の際には揺れ方、影響が異なり、両棟を繋ぐ連絡通路に段差が生じる等、問題が発生することが考えられるためである。非常ドアを開けた場合には、その後に清浄度の調査等が必要であり費用もかかるが、必要な訓練であるため計画していく。なお、訓練の際に一部行動基準等が十分ではないことが確認されたため、担当部署において行動基準の整理を行うこととした。また、産科婦人科ご協力のもと、災害時の閉創手順等についての確認を行った旨、併せて報告された。 ②PACS障害に伴う術野画像等のサーバ記録障害について 富山副部長から、現在発生しているPACSの術野映像に係る障害および障害発生中の情報保存等について説明があった。また、サーバ管理担当者から障害発生中の対応について提案があったため、必要な診療科は個別に医療情報部を経由し、業者と運用方法を相談いただくよう依頼があった。	

3) 個人情報管理

①手術部内に放置された個人情報入り紙類のシュレッダー処分について

富山副部長から、手術部内に放置された個人情報入り紙類について、原則シュレッダー処分としたい旨説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 手術部機器管理

1) 機器整備計画について

①高額医療機器購入順位について

富山副部長から、資料を基に、高額医療機器購入順位について説明があった。

高木部長から、手術部に置く医療機器については、複数科での共同使用が推奨されているため、申請時には考慮いただきたい旨、説明があった。

②新規機器購入申請管理ファイル案について

富山副部長から、現在作成中であり、完成後には各診療科病棟医長へ送付する旨、説明があった。

2) 機器の保管場所について

①機器保管室1奥Hinotori設置他について

富山副部長から、機器保管室1奥にHinotoriを設置する旨、報告があった。また、廊下に置かれているその他の機器についてもスペースを有効に使い機器保管室への移動を行っていくため、各診療科にも協力いただきたい旨、説明があった。

(3) 手術部設備管理

1) 医療ガス関連

富山副部長から、本院に残っていた手術部に関連する古いボンベについて、業者により点検を受け、必要対応を行った旨、報告があった。また、以前より報告している更衣室ロッカーの個人利用について再度注意があった。なお、同様に手術衣についても個人利用が散見される旨、併せて報告され、ロッカーおよび手術衣の個人利用について控えるよう依頼があった。また、麻酔科以外の医師が手術衣を着用したまま病棟等へ移動することは認められていないため、控えていただくよう併せて依頼があった。

(4) 手術部運営

1) 稼働状況について

富山副部長から、稼働状況について委員宛にデータを送付している旨、報告があった。12月は稼働が落ちていた。手術件数は前年より51件少なかった。コロナウィルスの影響等が考えられる。また、時間外在室時間について調査しており、調査完了後には各病棟医長へ連絡する旨、説明があった。

2) 手術調整について

富山副部長から、1月は手術申し込みが多く、手術の調整が難しくなっている旨、報告があった。現在のところ、申し込み制限をかけることはしない予定であるが、長時間手術等がある場合にはその状況も鑑み、各科で調整いただくよう依頼があった。

(4) その他

【次回開催予定：令和3年3月17日（水）17：30～日亜ホール（White 小）】

2021 年 1 月 手術部連絡協議会議題・議事

(1) 安全対策

1) 感染対策関連

①新型コロナウイルス感染性関連：シュミレーション実施予定等について

2) 災害対策

①災害対策訓練について：

新外来等手術室非常ドアを開けて行う避難訓練の必要性等について

②PACS 障害に伴う術野画像等のサーバ記録障害について

3) 個人情報管理

①手術部内に放置された個人情報入紙類のシュレッダー処分について

(2) 手術部機器管理

1) 機器整備計画について

① 機器購入順位について

② 新規機器購入申請管理ファイル案について

2) 機器の保管場所について

①機器保管室 1 奥 Hinotori 設置他について

(3) 手術部設備管理

1) 医療ガス関連：古いボンベの点検・廃棄について

(4) 手術部運営

1) 稼働状況について：手術部委員宛送付済、ご参照ください。

時間外在室時間について：後日病棟医長宛送付

2) 手術調整について

その他

2020 年 1 月 19 日
EIZO 株式会社
株式会社ニューテック

病院情報統合ストレージシステム障害のお詫びと
術中録画対応についてのご提案

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

年始に稼働を開始した弊社商品でございます統合ストレージシステム（製品名：ゼタサイト）のシステム障害により大きなご迷惑をお掛けしておりますことお詫び申し上げます。

術中録画につきましては録画保存先の統合ストレージシステムに不具合が発生すると録画の中断や停止の恐れがあるため、手術室毎に USB-HDD を利用したローカル録画の方法でご対応頂いている箇所があると伺っております。このような運用で先生方のご負担を増やしてしまいますこと誠に申し訳なく、お詫び申し上げます。一日も早く事態を収束させるべく考える対策を順次実行しているところではございますが、完全復旧までの間、弊社でできる限りの対応をさせて頂きたく、下記のルーチン対応の準備がございましたことをご案内申し上げます。

記

1. 弊社で USB 接続 HDD を用意いたします。
2. 手術録画をその HDD に記録していただきます。
3. 録画済み HDD をお預かりし、代わりにもう一台の HDD をお渡しいたしますの
で次の録画にご利用頂きます。（これを繰り返す運用を実施します）
4. お預かりした HDD の録画データの統合ストレージシステムへのデータ移行を
弊社で代行いたします。
5. データ移行後の HDD をお返しした際には統合ストレージシステムに録画データ
が存在することをご確認頂いた後にデータ消去と HDD 再利用をお願いいたしま
す。
6. データ移行作業は病院情報センター様のご指示を戴き病院内で実施いたします。

このルーチン対応は 1 月末までとし、それ以降は安全に統合ストレージシステムが
ご利用いただけますよう障害収束に全力を尽くしてまいります。

<お願い>

上記 3. の HDD 交換スパンについては、データ容量とアップロード時間との関係が
ございますので個別にご相談させていただけますようお願い申し上げます。

以上

高額機器購入優先順位について

診療科	機器	価格（千円）	内容	備考	順番
整形外科	手術用顕微鏡 TIVATO 700	27137	脊椎脊髄外科領域では脊髄、硬膜周囲の操作を行うにあたり、手術操作の安全性担保するために、術野を拡大した状態で操作する必要がある。	顕微鏡 形成外科と共用できないか検討 2004年以前購入	1
消化器外科	EMPRINT ABLATIONジェネレータ	5797	本物品はマイクロ波を用いて病変のアブレーションを行う為の機器である。当科ではかねてより肝切除術と併用し腫瘍に対するアブレーションを行っている。年間約50症例の肝切除中に5-10例程度使用予定。	2004年以前の機器	2
手術部	Jachson テーブル OSI 手術台Trio	2000万円台	2010年購入の機器、故障の発生あり、使用頻度の増加	安全管理上早期購入が望ましい。	3
眼科	白内障手術装置	33015	現在オペ室で白内障の手術に使用中である。メーカーからは2023年12月に関連の消耗品の供給が終了	超音波手術装置 2011購入	4
脳神経外科	手術用ナビゲーションシステム	74800	現在脳外科において使用しているナビゲーションシステム（メドトロニック ステルスステーションS7）は導入から5年以上経過し	ナビゲーション 現在使用しているものが使えなくなる段階で更新	5
呼吸器外科	STORZ Rubinaシステム	25878	胸腔鏡手術時に内視鏡カメラとして使用。頻度週3回程度。小児外科と併用（小児外科週3～4例程度）	内視鏡 最近 オリンパスのシステムを更新	6
形成外科	手術用顕微鏡	57750	手術時の微小血管吻合およびリンパ管吻合を行うための形成外科用手術顕微鏡である。	顕微鏡 他科と共用できないか検討	7
消化器外科	高度外科手術システム	32283	8K対応内視鏡手術システム、カ-蛍光イメージングシステム、高周波手術装置、内視鏡用ホルダマイクロ波メス アクロサージDual	内視鏡他	8
整形外科	ロボティックナビゲーションシステム	31350	脊椎手術においては経皮的低侵襲治療と共にナビゲーションシステムを用いたCT画像支援による手術が普及してきた。	ナビゲーション	9
耳鼻科	手術用顕微鏡システムORBEYE	48184	真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎の患者の治療として鼓室形成術に使用する。	顕微鏡 他科と共用できないか検討 最近1台更新済	10

408手術用顕微鏡図面

- 眼科顕微鏡
- 形成外科、消化器外、整形外科用手術顕微鏡
- 耳鼻科顕微鏡
- 脳神経外科顕微鏡
- XXX
- XXX

眼科顕微鏡 3台 2003, 2003, 2018 内1台は最新(2003はまれにある3列用に保管)
耳鼻科2台 1999?, 2004 内1台は故障
脳神経外科3台 2004, 2010, 2016 最新のものは耳鼻科共用
2004オリンパスサービス終了 更新中 3台で対応可
形成外科、消化器外、整形外科用
形成外科2000?(2013年にハイビジョンカメラシステム), 消化器外2009 計2台
整形外科用は廃棄済

計10台 定数としては9台

焦点距離、角度、副鏡の位置、付属機能?などが診療科により異なる

曜日別(主な手術日)

月:耳鼻科
火:脳神経外科、眼科、消化器外科
水:耳鼻科、整形外科、
木:形成外科、消化器外科、
金:脳神経外科、眼科、整形外科、形成外科

